

このまちの100年

「三軒茶屋」

三軒茶屋の地名は、角屋・信楽・田中屋という3軒の茶屋が、大山道沿い
にあったことに由来します。戦後、ヤミ市に始まり、多くの商店や飲食店、
映画館が立地するなど、大いににぎわいました。



明治後期～大正前期

砂利を運ぶ貨車が連結され、ジャリ電とも呼ばれた玉電



大正期

大正期、松陰神社には明治15年創建時の社殿が
まだ建っていた



大正13年

渋谷町水道の配水塔。発展著しかった渋谷町（現在の渋谷区の一部）により計画された町営水道



昭和戦前期

井伊家の菩提寺、豪徳寺の石門は昭和9年に寄進された



昭和36年

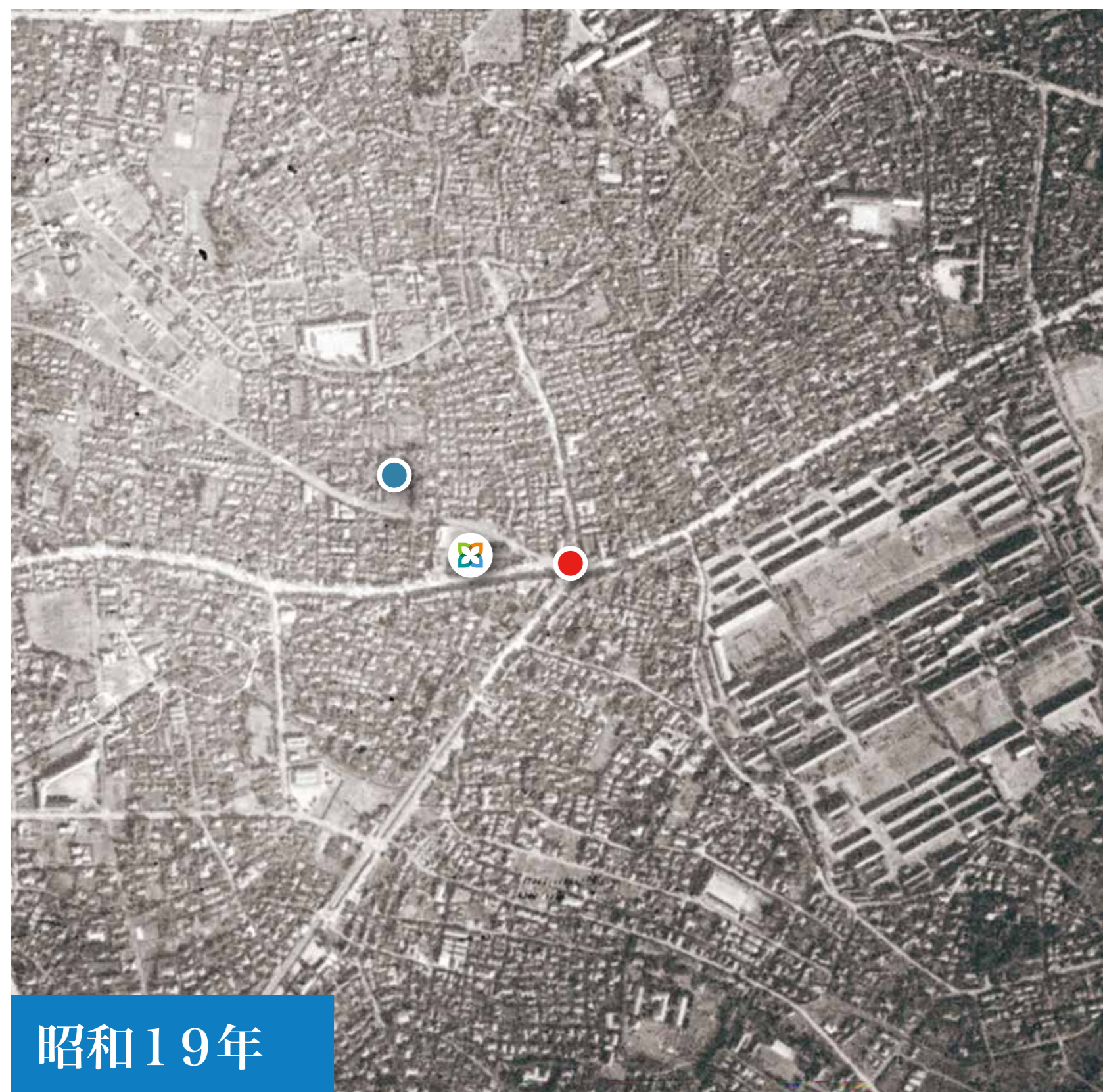
三軒茶屋には5軒の映画館があるなど娯楽でもにぎ
わっていた



昭和36年

三軒茶屋で玉電が分岐する付近の様子。車両は玉川通りを走る玉川線

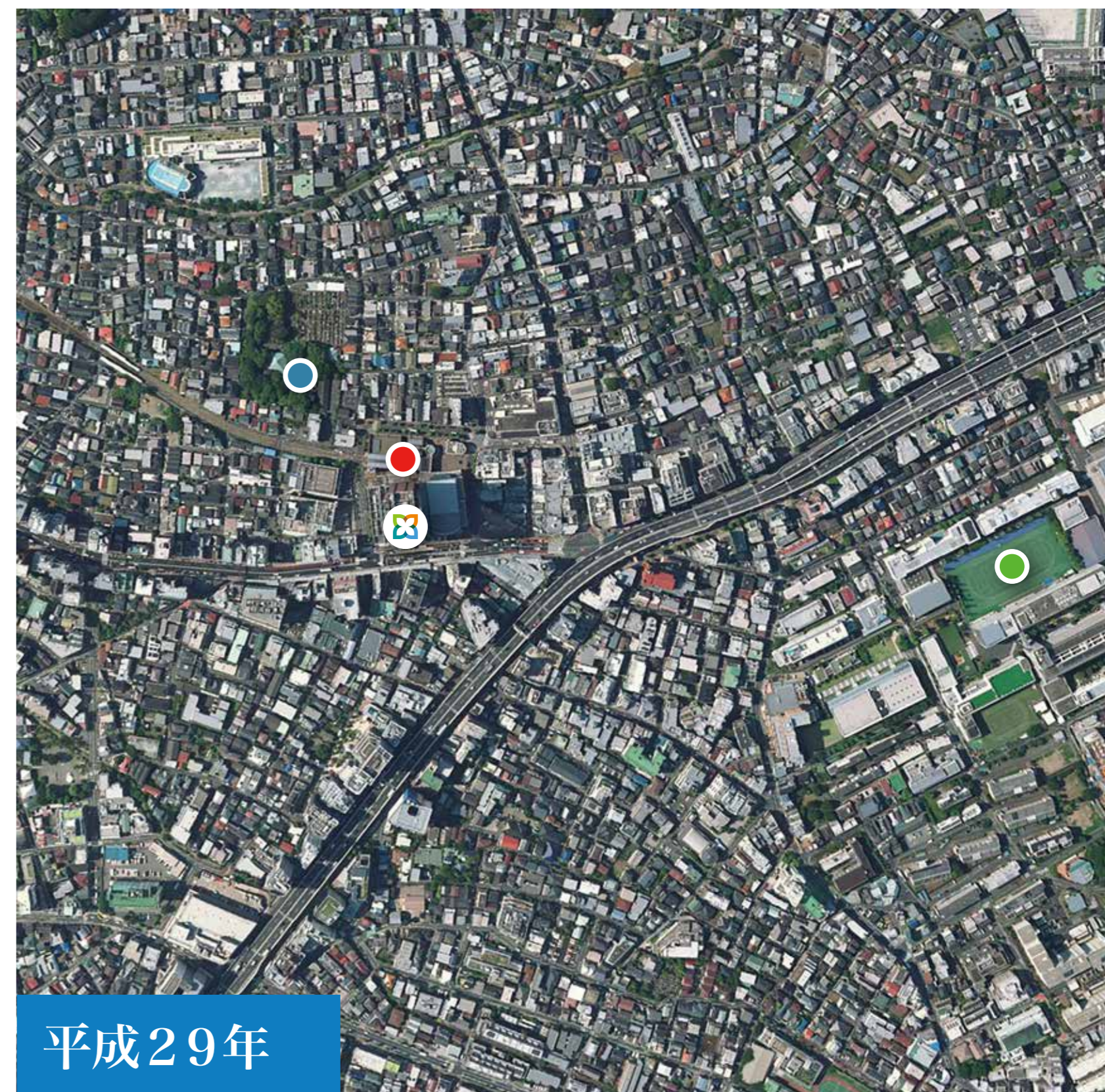
上空からみた三軒茶屋エリア



昭和19年



昭和54年



平成29年

: 現在地
 : 目青不動 : 昭和女子大学 : 玉電三軒茶屋駅／世田谷線三軒茶屋駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ